

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 カバノキ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

日本全土の湿原に自生する。いつも枝先に長い雄花序または果穂をつけている。近縁種のケヤマハンノキは溪流沿、ヤハズハンノキは多雪地、カワラハンノキは中部以西に自生し、いずれも溪流、湿地、崩壊地に多い。護岸のほか公園の水辺やビオトープの植栽にも利用される。



Memo

古くは水田の畦の脇に植栽され、稲刈り後に天日干しを行う稲架木(はさぎ)としても用いられた。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期		(花は目立たない)											
果 実		(果穂はいつまでも枝に残る)											
紅 葉													
施 肥		(不要)											
剪 定													

好みの環境			
日当り	陽	○	陰
土 壤	乾	○	湿
寒 さ	強	○	弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント


幹が直立し樹形が比較的整うので配植しやすいが、萌芽力旺盛で生長が速いため植付け場所に配慮したい。根は窒素固定菌と共生し、土壤の地力を高めるため、「肥料木」として配植される。


剪 定

生長が速いので、自然の樹形を損なわないよう枝抜き剪定をする。樹高を抑えるには芯止をする。幹が太くなってからの強剪定は美観を損なう。

病虫害

材が柔らかく、水辺に生育するため比較的病虫害が多い。ハマキムシが発生することがある。また、ミドリシジミの幼虫の食樹でもある。

呼べる鳥  [マヒワ](#)・ベニマシコ・イスカ・ベニヒワ
[アトリ](#)・ホオジロ・[シジュウカラ](#)

呼べる蝶  ミドリシジミ・ミズイロオナガシジミ
カラスシジミ